印西大師　番外　師戸・(仮称)十九番大師堂　※

1　名称　(No.255)〔資料館：○印〕
名称不明のため御堂に掲げられているプレート名から(仮称)十九番大師堂とした。

2　場所　印西市師戸1535付近
林の中の参道を行くが一本道でわかりやすい。
鎌苅・東祥寺から道程約1,850m
広福寺から道程約240m
GPS座標 35.76222928318071, 140.1829602588034

3　由緒　御堂に昭和五十八年三月のプレートがあることから、その頃建立したものだろうか。

4　御堂　大師堂の中に丸彫りの御大師様が１体あり。右横に御大師様風の絵又は掛軸があったが暗くて確認できなかった。

5　境内　大師堂のまわりは林の中で、大師堂のほかに御堂や石造物はない。

6　写真　(2022.10撮影)

大師堂

御大師様

大師堂

大師堂

御大師様の右に御大師様の掛軸？

林の中の参道

7　情報

(1) 四国八十八ヶ所第十九番立江寺(たつえじ)御詠歌
いつかさて西のすまいのわが立江(我館へ)　弘誓の舟に乗りていたらむ
第19番 高野山真言宗 橋池山(きょうちざん) 摩尼院(まにいん) 立江寺(たつえじ) 徳島県小松島市

(2) 第19番大師
大師堂に「昭和五十八年三月　第十九番　□□　土佐忠利」のプレートが貼られているので、昭和58年頃に四国八十八ヶ所の第十九番立江寺から持ち帰ったお砂をここに納め、御堂を建ててお祀りしたものと思われます。